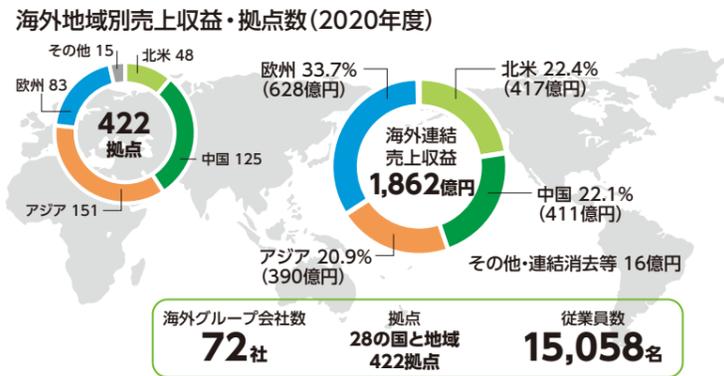


## 3PL事業(海外)

1976年のシンガポール進出以降、2021年3月末時点で、世界28の国と地域(日本を除く)に422拠点の海外ネットワークを構築しています。

ますます多拠点化、複雑化が進むお客様のグローバルサプライチェーンをサポートするために、3PLや自動車部品物流をはじめとする多様なサービスメニューを展開しています。



## 2020年度の実績

### 業績

売上収益: **1,862億円**(前年度比 ▲48億円) | 営業利益: **96億円**(前年度比 +32.5億円)

### 受注・立上

受注: **12件** | 立上: **11件**

### 2020年度トピックス

#### アジア チェンナイ近郊に物流センターを開設。インドへの投資をさらに加速

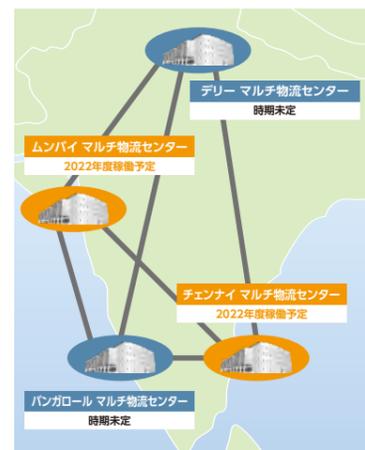
##### オラガダム物流センター

インドを中心に3PL・フォワーディングサービス事業を展開するFlyjac Logistics社は、2020年6月にチェンナイ近郊のオラガダムに物流センターを開設しました。オラガダムは、チェンナイの産業活動の中心地であり、世界的な自動車メーカー6社など多くの企業が拠点を置いています。本センターは、チェンナイ港から車で1時間程度という利便性から、輸出入貨物の取り扱いや、JIT(ジャストインタイム)配送の拠点として、お客様にワンストップでの物流サービスを提供しています。



オラガダム物流センター

#### 4大都市 マルチ物流センター構想



インドの物流・サプライチェーン市場は、2019年から2025年にかけて年率10.5%で成長すると予測されています\*1。当社グループは、急成長している市場の一つであるインドへ、積極的な投資を実施していきます。

インドでの事業拡大戦略の一環として、2022年度にムンバイ、チェンナイ、その後デリーとバンガロールの4大都市に、大規模なマルチ物流センターの開設を予定しています。

陸海空による国内外の輸送、輸出入におけるコンプライアンスのサポート、原材料や完成品の保管ソリューション、温度管理サービスの提供など、ワンストップでサプライチェーンを最適化することで、お客様の価値創造のパートナーとなることをめざしています。

#### 現地法人社長メッセージ

インド国内大手のフォワーディング会社である当社は、総合物流ソリューションパートナーとして、5,000社以上のお客様のサプライチェーンを最適化するために、マルチ物流センターの開設や輸送の近代化など、世界クラスのインフラ整備に注力しています。また、2020年8月にはITシステム全体をアップグレードし、単一のプラットフォーム上で、効率性、スピード、正確性、リアルタイムの可視性を向上させています。

**A.V.Ravikumar**  
取締役社長  
Flyjac Logistics Pvt. Ltd.



\*1 出典: "Indian Logistics Industry Outlook, 2020" Research and Markets

#### 北米 アラバマ州ハンツビル 顧客工場での工場構内作業運営開始

米国インディアナ州に本社を置くCarter Logistics社は独自のミルクランビジネスモデルを活用した自動車部品物流事業を展開しており、生産部品のクロスドックやサービスパーツの輸送に関し、お客様よりトップサービスプロバイダーとして評価されています。

Carter Logistics社は、大手OEM企業2社と提携し、アラバマ州ハンツビル市近郊にある新しい自動車工場の構内物流作業の運営を開始しました。2020年夏にこの業務を受注し、2020年の秋にトレーニングと立ち上げ活動を開始しました。2022年秋の本格稼働時には、2シフト、約250人のフォークリフトオペレーターにより、1日あたり15,000スキッド(パレット)を超える入庫搬送と、150以上のルートから納入される工場への入庫荷下ろし作業を実施する予定です。Carter Logistics社は現在提供しているサービスに加え、工場構内物流サービスも提供していきます。



ハンツビル 工場構内作業

#### 現地法人社長メッセージ

当社はトラック運送事業者として創業しましたが、現在はITを駆使した、成果重視のサプライチェーン全体の効率化に貢献する企業として事業を展開しています。イノベーションに注力し、最新のテクノロジーとデータをオペレーションと繋ぎ、米国とメキシコにて事業を展開しています。今後は、従来より提供しているサプライチェーンサービスに加え、工場構内物流サービス事業を伸ばさせていきたいと考えています。

**Jessica P. Warnke**  
取締役社長  
Carter Logistics, LLC



#### 欧州 トルコのハドゥムキョイ物流センターに太陽光パネルを設置

トルコのMars Logistics Group社では地球環境に配慮したサステナブルな取り組みの一環として、イスタンブールのハドゥムキョイ物流センターに太陽光パネルを設置しました。2021年1月までに物流センターの屋根12,098㎡に4,914枚の太陽光パネルを設置しており、年間約1,134tのCO<sub>2</sub>の排出量削減を見込んでいます。その他、当センターでは雨水を収集し防火用水などに利用する取り組みや、従来の木製パレットの代わりに再生紙を使用したペーパーパレットを使用するなど、環境に配慮した活動を進めています。



ハドゥムキョイ物流センター

#### 現地法人社長メッセージ

太陽光パネル設置により、SDGsの「目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「目標13 気候変動に具体的な対策を」などの目標達成に貢献しています。また当社では、環境に配慮したインターモーダル輸送事業を展開しており、幹線輸送部分に海運や鉄道輸送を組み合わせることで、輸送における環境負荷低減を図っています。今後も、サステナビリティに配慮した活動や投資を継続していきます。

**Garip Sahillioğlu**  
取締役社長  
Mars Logistics Group Inc.



#### ESGトピックス

- 2020年10月:米国Carter Express社が2020年運送業における女性にとって働きがいのあるトップ企業として表彰
  - 同賞は女性の雇用に注力するトラック運送事業者を支援するために2018年に創設
  - 約11,000票の投票で受賞企業を決定し、女性にとって働きがいのあるトップ企業の一社として選出
  - 幹部、トラックドライバー、整備士などさまざまな職種における女性の活躍が評価
- トルコMars Logistics Group社がジェンダー平等に関する活動を開始
  - 「Equality Has No Gender(平等には性別がない)」プロジェクトを2021年1月から開始
  - アンバサダーとして選出された従業員が、雇用、教育などのテーマで毎月さまざまなNGOと協力してイベントを開催
  - 本取り組みにより、SDGsが掲げる「目標5 ジェンダー平等を実現しよう」の達成に貢献



2020 "Top Company for Women to Work for in Transportation" 授賞

